

# 健診システム機能要件書

- (凡例) 基本 : ○ 健診パッケージの基本機能で対応可能な項目。  
 オプション : ○ 健診パッケージのオプション機能で対応可能な項目。  
 開発 : ○ 新規開発 または パッケージ機能をカスタマイズすることで対応する項目。

No.	項目	No.	内 容	ご 回 答 内 容			備考 (代替案や具体的な対応方法など)
				基本	オプション	開発	
1	基本仕様	1	導入システムは、全国的に稼働実績のある『パッケージシステム』を基本としていること。				
		2	現行システムの機能を網羅し、現行の問題点・課題・要望に対応できること。				
		3	システムは、Windows仕様のクライアントサーバーシステムであること。				
		4	データは全て本システム用サーバで管理すること。				
		5	サーバ側から、端末プログラムをクライアントへダウンロードできること。				
		6	端末プログラムは、本システム起動時に自動配信されること。				
		7	ソフトウェア的にセキュリティー機能を有し、データ守秘に対する信頼性が高いこと。				
		8	暗証番号としてのパスワード機能があること。				
		9	ユーザーID・パスワードにより、利用者ごとにメニューを切り分けることができること。				
		10	利用者ごとにデータ参照・出力・更新の制限が設定できること。				
		11	上記(No.10)の制限をセンターにて独自に行えること。				
		12	操作履歴の管理ができること。(操作ログの収集とログ参照)				
		13	帳票の出力管理が出来ること。				
		14	システム上での健診データの参照は、同一画面で簡単な操作でできること。				
		15	パラメーター等の定義を変更することにより、ユーザーが容易に項目の追加、変更や印刷設定等がソフトの変更(有料)なしにできるシステムであること。				
		16	各種帳票の新規作成、内容の変更をユーザー自身で簡単に行えるシステムであること。				
		17	カスタマイズ帳票(報告書、一覧等)は、10帳票作成すること。				
		18	OCRは、A3OCRを2種(巡回)、A4OCRを6種(施設3種、巡回3種)の作成、設定すること。				
		19	カスタマイズ集計・統計は、7種作成すること。				
		20	外部データ出力は、5種の設定作業をすること。				
		21	入力必須項目が画面上で分かること。				
		22	帳票出力やデータ出力時に他の機能が並行(複数画面を起動)して操作できること。				
		23	データセットアップについては、既存システムのデータを移行することを必須とする。				
		24	システム操作がスムーズに行えるよう、操作マニュアルを作成し、十分な教育、指導をおこなうこと。				
		25	バックアップは、RDXに保存できること。カートリッジは容量1TB以上を3本用意すること。				
		26	現システム業者(健診システム)からデータを移行すること。				
		27	文字コードはシフトJISであること。				
2	検索画面	1	各種検索画面に対応していること。				
2-1	契約検索	1	クライアント端末毎に検索結果リストのヘッダー項目の追加・削除、及びヘッダー項目の並び替えができること。 また、検索結果リストの変更した設定内容は保存ができること。				
		2	検索後の検索結果リストの各ヘッダー項目で昇順・降順で並び替えができること。				
		3	検索後の検索結果リスト情報を複数(最大5項目)のヘッダー項目を条件に、数字、あるいは文字として、昇順・降順の並び替えができること。				
		4	検索後に選択した検索結果リスト情報はCSVファイルに出力ができ、出力後エクスプローラーで出力先フォルダを表示すること。				
		5	検索後に選択した検索結果リスト情報はコピーしてエクセルに貼り付けることができること。				
		6	検索後に選択した検索結果リスト情報とヘッダーを印刷することができること。				

# 健診システム機能要件書

- (凡例) 基本 : ○ 健診パッケージの基本機能で対応可能な項目。  
 オプション : ○ 健診パッケージのオプション機能で対応可能な項目。  
 開発 : ○ 新規開発 または パッケージ機能をカスタマイズすることで対応する項目。

No.	項目	No.	内 容	ご 回 答 内 容		
				対応内容		
				基本	オプション	開発
		7	検索結果が表示された画面そのままの状態、複数の業務画面（契約登録画面、契約期間一括作成画面、契約一括削除画面、契約情報抽出画面）を起動できること。また、業務画面毎に検索処理が発生しないように、起動した業務画面に選択した抽出情報を引渡すことができること。			
2-2	団体検索	1	クライアント端末毎に検索結果リストのヘッダー項目の追加・削除、及びヘッダー項目の並び替えができること。また、検索結果リストの変更した設定内容は保存ができること。			
		2	検索後の検索結果リストの各ヘッダー項目で昇順・降順で並べ替えができること。			
		3	検索後の検索結果リスト情報を複数（最大5項目）のヘッダー項目を条件に、数字、あるいは文字として、昇順・降順の並び替えができること。			
		4	検索後に選択した検索結果リスト情報はCSVファイルに出力ができ、出力後エクスプローラーで出力先フォルダを表示すること。			
		5	検索後に選択した検索結果リスト情報はコピーしてエクセルに貼り付けることができること。			
		6	検索後に選択した検索結果リスト情報とヘッダーを印刷することができること。			
		7	検索結果が表示された画面そのままの状態、複数の業務画面（団体登録画面、団体情報出力画面）を起動できること、また業務画面毎に検索処理が発生しないように、起動した業務画面に選択した抽出情報を引渡すことができること。			
2-3	個人検索	1	クライアント端末毎に検索結果リストのヘッダー項目の追加・削除、及びヘッダー項目の並び替えができること。また、検索結果リストの変更した設定内容は保存ができること。			
		2	検索後の検索結果リストの各ヘッダー項目で昇順・降順で並べ替えができること。			
		3	検索後の検索結果リスト情報を複数（最大5項目）のヘッダー項目を条件に、数字、あるいは文字として、昇順・降順の並び替えができること。			
		4	検索後に選択した検索結果リスト情報はCSVファイルに出力ができ、出力後エクスプローラーで出力先フォルダを表示すること。			
		5	検索後に選択した検索結果リスト情報はコピーしてエクセルに貼り付けることができること。			
		6	検索後に選択した検索結果リスト情報とヘッダーを印刷することができること。			
		7	検索結果が表示された画面そのままの状態、複数の業務画面（個人登録画面、個人情報出力画面、時系列照会画面、個人一括修正画面）を起動できること。また、業務画面毎に検索処理が発生しないように、起動した業務画面に選択した抽出情報を引渡すことができること。			
		8	出力順を切り替えられること。 ・ 姓氏名(昇順) ・ 団体コード(昇順) + 姓氏名(昇順) ・ 住民コード(昇順) + 姓氏名(昇順)			
2-4	個人カルテ検索	1	クライアント端末毎に検索結果リストのヘッダー項目の追加・削除、及びヘッダー項目の並び替えができること。また、検索結果リストの変更した設定内容は保存ができること。			
		2	検索後の検索結果リストの各ヘッダー項目で昇順・降順で並べ替えができること。			
		3	検索後の検索結果リスト情報を複数（最大5項目）のヘッダー項目を条件に、数字、あるいは文字として、昇順・降順の並び替えができること。			
		4	検索後に選択した検索結果リスト情報はCSVファイルに出力ができ、出力後エクスプローラーで出力先フォルダを表示すること。			
		5	検索後に選択した検索結果リスト情報はコピーしてエクセルに貼り付けることができること。			
		6	検索後に選択した検索結果リスト情報とヘッダーを印刷することができること。			

# 健診システム機能要件書

- (凡例) 基本 : ○ 健診パッケージの基本機能で対応可能な項目。  
 オプション : ○ 健診パッケージのオプション機能で対応可能な項目。  
 開発 : ○ 新規開発 または パッケージ機能をカスタマイズすることで対応する項目。

No.	項目	No.	内 容	ご 回 答 内 容			
				対応内容			備考 (代替案や具体的な対応方法など)
				基本	オプション	開発	
		7	検索結果が表示された画面そのままの状態、複数の業務画面（個人カルテ情報出力画面、個人カルテ画面）を起動できること、また業務画面毎に検索処理が発生しないように、起動した業務画面に選択した抽出情報を引渡すことができること。				
2-5	予約者検索	1	クライアント端末毎に検索結果リストのヘッダー項目の追加・削除、及びヘッダー項目の並び替えができること。また、検索結果リストの変更した設定内容は保存ができること。				
		2	検索後の検索結果リストの各ヘッダー項目で昇順・降順で並べ替えができること。				
		3	検索後の検索結果リスト情報を複数（最大5項目）のヘッダー項目を条件に、数字、あるいは文字として、昇順・降順の並び替えができること。				
		4	検索後に選択した検索結果リスト情報はCSVファイルに出力ができ、出力後エクスプローラーで出力先フォルダを表示すること。				
		5	検索後に選択した検索結果リスト情報はコピーしてエクセルに貼り付けることができること。				
		6	検索後に選択した検索結果リスト情報とヘッダーを印刷することができること。				
		7	検索結果が表示された画面そのままの状態、複数の業務画面（予約登録画面、予約・受付時修正画面、予約一括修正）を起動できること、また業務画面毎に検索処理が発生しないように、起動した業務画面に選択した抽出情報を引渡すことができること。				
		8	出力順を切り替えられること。 ・ 予約日(降順)+コースコード(昇順)+個人コード(昇順) ・ 予約日(降順)+開始時間(昇順)				
2-6	準備帳票検索	1	クライアント端末毎に検索結果リストのヘッダー項目の追加・削除、及びヘッダー項目の並び替えができること。また、検索結果リストの変更した設定内容は保存ができること。				
		2	検索後の検索結果リストの各ヘッダー項目で昇順・降順で並べ替えができること。				
		3	検索後の検索結果リスト情報を複数（最大5項目）のヘッダー項目を条件に、数字、あるいは文字として、昇順・降順の並び替えができること。				
		4	検索後に選択した検索結果リスト情報はCSVファイルに出力ができ、出力後エクスプローラーで出力先フォルダを表示すること。				
		5	検索後に選択した検索結果リスト情報はコピーしてエクセルに貼り付けることができること。				
		6	検索後に選択した検索結果リスト情報とヘッダーを印刷することができること。				
		7	検索結果が表示された画面そのままの状態、複数の業務画面（事前準備帳票一括出力、予約登録画面、送付先登録）を起動できること。また、業務画面毎に検索処理が発生しないように、起動した業務画面に選択した抽出情報を引渡すことができること。				
		8	出力順を切り替えられること。 ・ 予約日(降順)+開始時間(昇順) ・ 予約日(降順)+コースコード(昇順)+個人コード(昇順)				
2-7	受診者検索	1	クライアント端末毎に検索結果リストのヘッダー項目の追加・削除、及びヘッダー項目の並び替えができること。また、検索結果リストの変更した設定内容は保存ができること。				
		2	検索後の検索結果リストの各ヘッダー項目で昇順・降順で並べ替えができること。				
		3	検索後の検索結果リスト情報を複数（最大5項目）のヘッダー項目を条件に、数字、あるいは文字として、昇順・降順の並び替えができること。				
		4	検索後に選択した検索結果リスト情報はCSVファイルに出力ができ、出力後エクスプローラーで出力先フォルダを表示すること。				
		5	検索後に選択した検索結果リスト情報はコピーしてエクセルに貼り付けることができること。				

# 健診システム機能要件書

- (凡例) 基本 : ○ 健診パッケージの基本機能で対応可能な項目。  
 オプション : ○ 健診パッケージのオプション機能で対応可能な項目。  
 開発 : ○ 新規開発 または パッケージ機能をカスタマイズすることで対応する項目。

No.	項目	No.	内 容	ご 回 答 内 容		
				対応内容		
				基本	オプション	開発
		6	検索後に選択した検索結果リスト情報とヘッダーを印刷することができること。			
		7	検索結果が表示された画面そのままの状態、複数の業務画面(受付登録画面、予約・受付時修正画面、検体検査依頼出力画面、必要な帳票の出力画面)を起動できること。また、業務画面毎に検索処理が発生しないように、起動した業務画面に選択した抽出情報を引渡すことができること。			
		8	出力順を切り替えられること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受診日(昇順)+受診番号(昇順)</li> <li>・ 受診日(降順)+コースコード(昇順)+個人コード(昇順)</li> <li>・ 受診日(降順)+開始時間(昇順)</li> </ul>			
2-8	結果検索	1	クライアント端末毎に検索結果リストのヘッダー項目の追加・削除、及びヘッダー項目の並び替えができること。また、検索結果リストの変更した設定内容は保存ができること。			
		2	検索後の検索結果リストの各ヘッダー項目で昇順・降順で並べ替えができること。			
		3	検索後の検索結果リスト情報を複数(最大5項目)のヘッダー項目を条件に、数字、あるいは文字として、昇順・降順の並び替えができること。			
		4	検索後に選択した検索結果リスト情報はCSVファイルに出力ができ、出力後エクスプローラーで出力先フォルダを表示すること。			
		5	検索後に選択した検索結果リスト情報はコピーしてエクセルに貼り付けることができること。			
		6	検索後に選択した検索結果リスト情報とヘッダーを印刷することができること。			
		7	検索結果が表示された画面そのままの状態、複数の業務画面(結果個別登録、グループ別結果登録、時系列照会、エクセル出力、確定処理)を起動できること。また、業務画面毎に検索処理が発生しないように、起動した業務画面に選択した抽出情報を引渡すことができること。			
		8	検索条件を切り替えられること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 結果検索</li> <li>・ 個人検索</li> </ul>			
2-9	特定健診検索	1	クライアント端末毎に検索結果リストのヘッダー項目の追加・削除、及びヘッダー項目の並び替えができること。また、検索結果リストの変更した設定内容は保存ができること。			
		2	検索後の検索結果リストの各ヘッダー項目で昇順・降順で並べ替えができること。			
		3	検索後の検索結果リスト情報を複数(最大5項目)のヘッダー項目を条件に、数字、あるいは文字として、昇順・降順の並び替えができること。			
		4	検索後に選択した検索結果リスト情報はCSVファイルに出力ができ、出力後エクスプローラーで出力先フォルダを表示すること。			
		5	検索後に選択した検索結果リスト情報はコピーしてエクセルに貼り付けることができること。			
		6	検索後に選択した検索結果リスト情報とヘッダーを印刷することができること。			
		7	検索結果が表示された画面そのままの状態、複数の業務画面(特定健診3期データ作成画面、受付登録画面、団体登録画面、特定保健指導システム向けデータ出力画面)を起動できること。また、業務画面毎に検索処理が発生しないように、起動した業務画面に選択した抽出情報を引渡すことができること。			
		8	検索条件を切り替えられること。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定健診検索</li> <li>・ 登録条件</li> </ul>			
2-10	請求書検索	1	クライアント端末毎に検索結果リストのヘッダー項目の追加・削除、及びヘッダー項目の並び替えができること。また、検索結果リストの変更した設定内容は保存ができること。			
		2	検索後の検索結果リストの各ヘッダー項目で昇順・降順で並べ替えができること。			

# 健診システム機能要件書

- (凡例) 基本 : ○ 健診パッケージの基本機能で対応可能な項目。  
 オプション : ○ 健診パッケージのオプション機能で対応可能な項目。  
 開発 : ○ 新規開発 または パッケージ機能をカスタマイズすることで対応する項目。

No.	項目	No.	内 容	ご 回 答 内 容			備考 (代替案や具体的な対応方法など)	
				対応内容				
				基本	オプション	開発		
		3	検索後の検索結果リスト情報を複数(最大5項目)のヘッダー項目を条件に、数字、あるいは文字として、昇順・降順の並び替えができること。					
		4	検索後に選択した検索結果リスト情報はCSVファイルに出力ができ、出力後エクスプローラーで出力先フォルダを表示すること。					
		5	検索後に選択した検索結果リスト情報はコピーしてエクセルに貼り付けることができること。					
		6	検索後に選択した検索結果リスト情報とヘッダーを印刷することができること。					
		7	検索結果が表示された画面そのままの状態で、複数の業務画面(請求書修正作成画面、団体請求一覧表出力画面、請求書・明細書出力画面)を起動できること。また、業務画面毎に検索処理が発生しないように、起動した業務画面に選択した抽出情報を引渡すことができること。					
3	団体情報	1	団体コードは10桁程度管理でき、自動発番、手動発番を選択できること。					
		2	団体の名称は、漢字名称、略称、カナ名称が管理できること。					
		3	団体の住所登録は、郵便番号にて簡易に登録できること。また郵便番号を住所から検索できること。					
		4	団体住所は、住所1、住所2等の分割管理ができること。また住所は発送先住所を別途管理できること。					
		5	案内・結果の送付先・請求先・請求書の送付先等が複数登録でき管理ができること。					
		6	団体への問合せ先である先方の担当部署、担当者を管理できること。					
		7	団体に関するコメント情報(団体の特徴、注意事項等)が管理できること。					
		8	団体単位で部署が管理できること。部署は、5階層まで登録できること。(5階層の内訳)					
		9	団体の所属受診者が一覧表示できること。また一括で部署の変更ができること。					
		10	団体の分類が設定できること。(事業所、保険者等)					
		11	団体での受診状況および予約状況が月別、日別で参照できること。					
4	契約情報	1	団体(健保/企業など)ごとに複数の健診コース内容を管理できること。					
		2	団体(健保/企業など)ごとに契約の履歴管理ができること。(コース内容、検査項目、料金等を含む履歴)					
		3	契約情報や契約明細に、フリーコメントが記入できること。					
		4	契約情報の有効期限・継続契約の管理ができること。					
		5	契約ごとに、年齢の算出方法を設定できること。(年度年齢、指定日年齢、受診日年齢等)					
		6	契約情報参照を必要とする処理(予約/受付処理等)で参照ができること。					
		7	契約料金の負担先を複数設定できること。(個人、団体、保険者)					
		8	契約料金の負担先団体毎に上限金額が設定でき、上限金額を超える場合は、個人負担金に自動で振替されること。					
		9	契約料金の負担先団体と限度額が設定でき、残金に対する負担先が設定できること。					
		10	契約料金の負担先と負担割合が設定できること。また限度額と組み合わせた設定ができること。					
		11	契約コース・オプションごとに、受診条件(年齢、性別、本人/家族)が設定できること。					
		12	契約コース・オプションごとに、予約可能日と受診可能日を設定でき、対象外日付で予約等をした場合に、警告メッセージを表示すること。					
		13	契約コース・オプションごとに、税計算の方法(内税/外税)が設定できること。					
		14	検査中止時の減算金額が設定できること。					
		15	契約に関する各種補足情報(契約時の注意事項等)が管理できること。各種補足情報は、予約登録時や受付登録時に参照できること。					
		16	契約情報登録時に他団体(健保/企業など)の契約をコピーして簡単に契約が登録できること。					
		17	各種条件(コース、請求書単位、検査、オプション等)による検索ができること。					

# 健診システム機能要件書

- (凡例) 基本 : ○ 健診パッケージの基本機能で対応可能な項目。  
 オプション : ○ 健診パッケージのオプション機能で対応可能な項目。  
 開発 : ○ 新規開発 または パッケージ機能をカスタマイズすることで対応する項目。

No.	項目	No.	内 容	ご 回 答 内 容		
				対応内容		
				基本	オプション	開発
		18	契約に関する文書ファイル (PDF形式等) を契約団体単位で管理できること。			
5	受診者情報	1	受診者番号は10桁程度管理できること。			
		2	受診者IDは自動採番、手動発番を選択ができること。			
		3	受診者IDは自動採番、手動発番など複数選択できること。			
		4	受診者の基本属性 (住所、電話番号、連絡先、Eメールアドレス) が管理できること。			
		5	受診者の住所は、住所1、住所2等の分割管理ができること。また住所は発送先住所を別途管理できること。			
		6	受診者の住所登録は、郵便番号にて簡易に登録できること。また郵便番号を住所から検索できること。			
		7	受診者の所属団体情報 (部署、社員番号、職種、備考等) が管理できること。			
		8	受診者毎に保険情報 (保険者番号、保険記号、保険番号、本人区分) を管理できること。			
		9	受診者の旧姓が管理できること。また氏名が変更になった日付も管理できること。			
		10	受診者の氏名は全角50文字の入力が可能なこと。			
		11	受診者のカナ氏名は半角100文字の入力が可能なこと。			
		12	血液型 (ABO、RH) や感染症の管理ができること。			
		13	受診者からの問合せ対応として、受診者属性画面から過去の受診歴および健歴の参照ができること。(前回の受診コース、オプション等の確認)			
		14	受診者からの問合せ対応として、受診者番号、カナ氏名、漢字氏名、旧姓、生年月日、所属団体、保険記号等による検索ができること。			
		15	受診者毎に受診者番号とは別に受診者のキーIDを登録できること。			
		16	受診者に関する各種コメントや注意/特記事項が管理できること。			
		17	受診者に関する個人管理できる項目はユーザ側で上限を設けずに、任意に設定できること。			
		18	受診者に関するファイル (同意書、紹介状等) を受診者情報とリンクし管理できること。			
		19	受診者番号を二重採番した場合に、受診者番号の統合が可能であること。			
		20	個人の団体情報は3階層以上とすること。			
6	予約	1	予約登録時に契約で指定された受診可能なコース、オプションのみが選択できること。(絞り込み検索機能)			
		2	予約登録時に個人および契約のコメント情報の参照ができること。			
		3	予約登録時に予約コメントが入力できること。			
		4	予約登録時にコース、オプション別の負担金額 (負担先含む) が確認できること。また、金額の変更ができること。			
		5	予約登録時に受診者属性情報、契約情報、受診歴 (過去に受診したコース、オプション、負担金情報) が参照できること。			
		6	予約登録時に同一画面 (画面を切り替えることなく) で、受診者マスタを新規登録、修正ができること。			
		7	予約登録時にマスタ設定した検査結果 (O型肝炎など) が履歴画面で確認できること。			
		8	予約登録時に希望曜日、性別、希望コース・オプションによる空き枠検索ができること。			
		9	予約登録時に夫婦やグループ受診の場合、複数受診者を対象に空き枠検索ができること。			
		10	予約登録時に予約の変更履歴が参照できること。また変更登録を行った職員を確認できること。			
		11	予約登録時に予約の日付変更や検査項目の追加・削除などが、簡単な操作でできること。			
		12	予約登録時に予約日の制限無しに、予約を登録をできること。(例: 1年後の予約を登録できる)			
		13	予約登録時に送付物の発送先が確認できること。また個人別に送付物の発送先を変更できること。			
		14	予約登録時にカレンダー形式の予約状況を照会しながら、予約登録ができること。また、日別、枠別に予約数、空枠数が確認できること。			

# 健診システム機能要件書

- (凡例) 基本 : ○ 健診パッケージの基本機能で対応可能な項目。  
 オプション : ○ 健診パッケージのオプション機能で対応可能な項目。  
 開発 : ○ 新規開発 または パッケージ機能をカスタマイズすることで対応する項目。

No.	項目	No.	内 容	ご 回 答 内 容			備考 (代替案や具体的な対応方法など)	
				対応内容				
				基本	オプション	開発		
		15	予約登録時に年度内に予約が存在する場合、2重予約の防止機能として警告メッセージが出力すること					
		16	カレンダー形式の予約状況は○×表記等により簡易に状況を確認できること。また、6か月間の予約状況カレンダーが参照できること。					
		17	予約者一覧が参照できること。また、予約者を選択して予約の変更、受診歴の参照ができること。					
		18	予約キャンセル者の状況が画面で確認できること。					
		19	予約状況は、団体、コース、検査、時間帯による絞り込みができること。					
		20	予約状況は、予約時間枠ごとのコースと検査に何人予約が入っているかを確認できること。					
		21	予約枠は、基本の予約枠パターンを保持でき、年度単位等の有効期間の設定ができること。					
		22	コースの予約枠は、曜日別、時間帯別、性別、コースのグループごとに設定できること。					
		23	検査の予約枠は、曜日別、時間帯別、性別、コースのグループごとに設定できること。					
		24	予約枠は、時間帯(分単位)や午前、午後による管理ができること。					
		25	予約枠は、コース、検査毎に予約可能な最大人数が設定できること。また時間帯毎や性別毎に設定できること。					
		26	予約枠は、祝祭日が事前に設定でき、カレンダー作成時に休日として扱われること。					
		27	予約枠で、人数制限チェック機能(警告人数、制限人数など)が管理できること。 警告人数…設定人数の予約が達した場合、警告メッセージを出力し、予約受付は可能。 制限人数…設定人数の予約が達した場合、定員オーバーメッセージを出力し、予約受付は不可。					
		28	予約枠(仮予約)の管理ができること。また、本予約への変更する操作が簡単にできること。					
		29	団体枠登録機能予定日やコース、希望曜日、予約数を指定して予約可能日の検索ができること。					
		30	団体枠登録機能団体ごとにコース及びオプション、日付及び時間毎に人数での枠取り予約ができること。					
7	事前準備	1	予約者の内容(団体、コース、検査項目、予約時間、カナ氏名など)をもとに検索し、各受診者ごとに必要な案内書、問診票やその他付属書類をセットで印刷できること。					
		2	事前送付物の宛先(住所ラベル等)が、受診者/団体に適した宛先で出力できること。					
		3	問診票等の帳票にバーコードの印字ができること。					
		4	問診票に既往歴など、前回の履歴情報を印字できること。					
		5	帳票出力時に「出力順」(日付、カナ氏名、社員番号順など)を指定できること。					
		6	予約情報の全データを抽出できること。					
		7	予約者の事前準備物の発送日管理ができること。					
		8	検体検査や放射線などの部門システム連携の際、予約情報からも受付情報からも受診者情報を連携できること。					
8	受付	1	受診日当日の予約者一覧を表示し、予約者を選択して受付ができること。					
		2	受診日当日、受診者番号のバーコード等を利用して、簡単に受付ができること。					
		3	受付画面一覧上の受診者を、カナ氏名で絞り込み表示ができること。					
		4	受付画面は、予約登録画面と共通仕様とし、操作の利便性を図ること。					
		5	受付登録時に個人および契約のコメント情報の参照ができること。また、予約時に登録した予約コメントが表示できること。					
		6	同一画面(画面を切り替えることなく)で受診者マスタを新規登録、修正ができること。					
		7	受付登録時に受診者属性情報、受診歴(過去に受診したコース、オプション、負担金情報)が参照できること。					
		8	受付登録時に当日料金を表示できること。また金額の変更ができること。					
		9	受付登録時に検査項目の追加・削除などが、簡単な操作でできること。					
		10	受付登録時に送付物の発送先が確認できること。また個人別に送付物の発送先を変更できること。					

# 健診システム機能要件書

- (凡例) 基本 : ○ 健診パッケージの基本機能で対応可能な項目。  
 オプション : ○ 健診パッケージのオプション機能で対応可能な項目。  
 開発 : ○ 新規開発 または パッケージ機能をカスタマイズすることで対応する項目。

No.	項目	No.	内 容	ご 回 答 内 容		
				対応内容		
				基本	オプション	開発
		11	受付登録時に確認が必要な項目 (尿・便容器、保険証、同意書等) の受領登録が可能であること。			
		12	受付登録時に特定健診の受診券情報の登録ができること。また、選択した受診者に対して受診券情報を一括入力できること。			
		13	受付登録時に協会けんぽのコースの場合、申込み (承認番号の有無) チェックができること。			
		14	予約なしでも受付が簡単な操作で登録できること。			
		15	受付登録と同時に領収書の発行ができること。			
		16	各種条件 (受診日、コース、団体、性別、状態 (未受付、受付済、キャンセル)、受診者番号等) による検索ができること。			
9	検査結果入力	1	受診者別入力と検査項目別入力 (検査項目別に受診者の一覧表示を行い、検査項目毎に結果を連続入力) ができること。			
		2	受診者一覧から結果入力画面に遷移できること。			
		3	受診者別入力画面では全項目を一覧表示して結果の入力ができること。			
		4	受診者別入力画面では過去結果の参照ができること。			
		5	受診者別入力画面では所見をコード入力やリストからの選択入力ができること。またコメントのフリー入力ができること。			
		6	検査項目別入力画面では同じ結果値を複数の受診者に一括入力ができること。			
		7	検査項目別入力画面では入力対象 (未入力・一部未入力) の絞り込み検索ができること。			
		8	検査項目別入力画面の検査項目はユーザー側で設定ができること。			
		9	結果入力画面で「後日」 (検体忘れ、生理中による後日採尿等) の確認ができること。			
		10	結果入力順は画面レイアウトマスタにより任意の順序設定ができること。			
		11	過去の間診回答 (既往歴等) を今回の問診票に継承できること。			
		12	結果の入力漏れのチェックができること。			
		13	入力データの妥当性チェック (過去値との大幅な差異) など確認を促す機能を有すること。			
		14	異常値はHigh・Lowを色分け表示またはL (Low) /H (High) マークで表示できること。			
		15	異常無しや (-) など初期値を一括入力することができること。			
		16	上限、下限値に対して、「以上」、「以下」の表示が可能なこと。(ex. 視力0.1以下、測定値: 0.4以下など)			
		17	受診日、受付番号、コース、団体、受診者番号等による受診者の検索ができること。			
		18	CSVデータからの受診日・受診番号・ (半角) ｶﾞ氏名をキーに検査結果 (骨粗データ・乳がん結果など) の入力が可能であること。			
10	自動判定	1	専用画面より視覚的にわかり易い形式で判定論理が目で見えること。			
		2	ユーザー側で専用画面より判定ロジックの確認・変更ができること。			
		3	既存の判定ロジックをコピーして、新規判定ロジックを作成できること。			
		4	判定ロジックの論理仕様を印刷できること。			
		5	判定ロジックの論理仕様をCSV出力できること。			
		6	判定ロジックのデバック機能として、導出されたコメントがどのような自動判定ロジックを通ったか専用画面より確認できること。			
		7	総合コメントを団体毎に判定論理を作成しコメントを導出できること。			
		8	総合コメントは、過去結果よりコメントを導出できること。			
		9	総合コメントは、問診よりコメントを導出できること。			

# 健診システム機能要件書

- (凡例) 基本 : ○ 健診パッケージの基本機能で対応可能な項目。  
 オプション : ○ 健診パッケージのオプション機能で対応可能な項目。  
 開発 : ○ 新規開発 または パッケージ機能をカスタマイズすることで対応する項目。

No.	項目	No.	内 容	ご 回 答 内 容			備考 (代替案や具体的な対応方法など)		
				対応内容					
				基本	オプション	開発			
		10	総合コメントは、性別、年齢よりコメントを導出できること。						
		11	総合コメントは、複数の検査項目より複合的にコメントを導出できること。						
		12	自動判定条件を日付管理でき、受診日を基に設定した判定ロジックを回し、総合コメントの導出ができること。						
		13	機能判定は、団体毎に分岐を作成し判定を導出できること。						
		14	機能判定は、過去結果より判定を導出できること。						
		15	機能判定は、問診より判定を導出できること。						
		16	機能判定は、性別、年齢より判定を導出できること。						
		17	機能判定は、複数の検査項目より複合的に判定を導出できること。						
		18	自動判定条件を日付管理でき、受診日を基に設定した判定ロジックを回し、判定の導出ができること。						
		11	結果報告書	1	複数パターンの報告書を出力できること。				
				2	報告書などの帳票類の様式レイアウトをユーザー側で追加・変更できること。				
				3	報告書に過去歴が出力できること。(過去5年分のみ印字可能なこと)				
				4	報告書にグラフや図を出力できること。				
				5	数値データの異常値に対して、L (Low) /H (High) マーク付与等、高低に応じたマーキングを印字できること。				
				6	異常値に対して、カラー印字ができること。				
				7	受診者本人が希望したオプション検査などは、事業所や健保の報告書に出力しないこと。また、項目判定も個人用と事業所/健保と管理でき、総合所見の内容に反映されること。				
				8	報告書を送付する宛先が、受診者/団体に適した宛先で出力できること。				
				9	報告書は受診日や団体、コースなどを範囲指定して印刷できること。また、受診者を選択して印刷できること。				
10	精密検査対象者の場合は、報告書と精密検査受診案内がセットで印刷されること。								
12	データ作成	1	健診システムで管理する全データが出力できること。また、出力するデータ項目はユーザー側で指定できること。						
		2	出力先、出力ファイル名の指定ができること。						
		3	事業所や健保から指定されたフォーマットに基づき、CSV形式やXML形式等のデータとして出力できること。						
		4	事業所や健保へデータを提出する際には、ディスクデュプリケータと連動し、複数の事業所や健保分のデータを一括でCD-Rに自動作成及びレーベル印刷までできること。						
		5	受診期間、団体、コース、受診者等の抽出条件を指定してデータが出力できること。						
		6	抽出条件は保存可能とし、繰り返し同一条件による出力ができること。						
		7	契約コースに含まれる検査項目の結果のみ出力できること。						
		8	契約オプション検査及び個人自費オプション検査項目の結果のみ出力できること。						
		9	特定の検査の受診者など、検査内容での絞り込みも可能であること。						
		10	検査項目の結果値範囲や有所見該当者等による絞り込みも可能であること。						
13	再検査・精密検査管理	1	有所見者を抽出できること。						
		2	再検、二次精査対象者リストの出力ができること。						
		3	二次精査対象者への通知書(案内状、紹介状、封筒宛名)の発行ができること。						
		4	精密検査の紹介状に対する返信結果(診断結果、病院名など)を管理できること。						
		5	精密検査の未受診者に対して、受診勧奨の管理ができること。						
14	請求	1	以下の請求機能に対応していること。						
	14-1 個人向け請求	1	請求の際に、請求書兼領収書が発行できること。						

# 健診システム機能要件書

- (凡例) 基本 : ○ 健診パッケージの基本機能で対応可能な項目。  
 オプション : ○ 健診パッケージのオプション機能で対応可能な項目。  
 開発 : ○ 新規開発 または パッケージ機能をカスタマイズすることで対応する項目。

No.	項目	No.	内 容	ご 回 答 内 容				
				対応内容			備考 (代替案や具体的な対応方法など)	
				基本	オプション	開発		
		2	受診日範囲、受診者、コース、団体にて請求対象者の絞り込みができること。					
		3	請求画面一覧上の受診者を、カナ氏名で絞り込み表示ができること。					
		4	文書料等の健診項目以外のオプションも追加請求が可能であること。					
		5	請求書の宛名および適用が変更できること。					
		6	コースとオプションが分割請求できること。					
		7	複数の請求先を指定して一括請求処理ができること。					
		8	入金、一部入金、全額入金に対応でき、入金方法（現金、振込等）も管理ができること。					
		9	請求書の削除ができること。また、削除理由を登録できること。					
		14-2 団体向け請求		1	受診者の団体負担金を集計して、団体宛の請求書が作成できること。			
				2	団体毎に請求書の管理ができること。			
3	同一請求先でもコース単位で請求書を分割することができること。							
4	複数の請求先を指定して一括請求処理ができること。							
5	請求書の宛名および適用が変更できること。							
6	受診者明細のない請求明細（予防接種料、医師派遣代等）を作成できること。							
7	請求書の削除ができること。また、削除理由を登録できること。							
8	請求日や受診日、請求先、請求金額等の条件で、請求書が検索できること。							
9	受診日、団体、コース等の条件で締め処理ができること。							
10	団体ごとに受診人数や売り上げ金額が抽出されること。							
14-3 その他		1	1つの健診コースに付き、複数の助成金及び補助金を設定することができること。					
		2	個人未収金の対応ができること。					
		3	入金管理・未収金管理ができること。					
		4	請求データをCSVファイルへ出力できること。					
		5	請求書に院長印を印刷して出力できること。					
15 統計		1	労基署提出報告書（事業所別）が出力できること。					
		2	労基署提出報告書（複数の事業所を一つの団体として）が出力できること。					
		3	日本人間ドック学会報告用統計が出力できること。					
		4	指定した条件で統計データが出力できること。					
		5	受診者数、売上額の日計、月計、年計など指定した条件で統計データが出力できること。					
16 面接支援		1	面接当日、面接対象者を簡単な操作で検索できること。また、受診者番号のバーコード等を利用して、面接支援画面を展開できること。					
		2	面接支援画面は、今回結果と過去結果が時系列で表示できること。また、問診内容も表示できること。					
		3	面接支援画面は、各項目毎の判定や所見・コメントが参照でき、判定の変更や所見・コメントの入力ができること。					
		4	面接支援画面は、PACSと連動し今回画像や過去画像を表示できること。					
		5	面接支援画面から、紹介状の作成、印刷ができること。					
		6	面接支援画面に表示する検査項目は、容易に変更できること。また、グループ化できること。					
17 検査支援		1	各種条件（受診日、検査内容、コース、状態（全て、入力済、未入力）による受診者検索ができること。					
		2	検査支援画面は、必要な数だけ過去結果、問診内容を表示できること。					
		3	検査支援画面では、部位・所見・疑い・判定をマスターリストから選択入力できること。					

# 健診システム機能要件書

- (凡例) 基本 : ○ 健診パッケージの基本機能で対応可能な項目。  
 オプション : ○ 健診パッケージのオプション機能で対応可能な項目。  
 開発 : ○ 新規開発 または パッケージ機能をカスタマイズすることで対応する項目。

No.	項目	No.	内 容	ご 回 答 内 容		
				対応内容		
				基本	オプション	開発
		4	検査支援画面では、前回結果を反映したい場合に1クリックで入力できる機能があること。			
		5	面接支援画面は、PACSと連動し今回画像や過去画像を表示できること。			
		6	検査支援画面では、報告書には記載しない検査時のコメントを登録できること。また、コメントは次回の検査時にも引き継がれ、コメントの検索機能や前回コメントを今回に反映する機能もあること。			
18	読影支援	1	第一・第二・第三読影の入力まで対応ができること。			
		2	各種条件(受診日、検査内容、コース、読影状況(未読、既読、一読、二読、三読))による受診者検索ができること。			
		3	一覧リスト表示には、各検査ごとに読影入力済みと読影未入力の人数が表示されること。また、第一・第二・第三読影の入力ステータスが表示できること。			
		4	読影支援画面は、過去結果や問診内容を表示できること。			
		5	読影支援画面では、部位・所見・疑い・判定をマスターリストから選択入力できること。			
		6	読影支援画面では、異常無しや前回結果を反映したい場合に簡単な操作(1クリック等)で入力できる機能があること。			
		7	読影支援画面は、PACSと連動し今回画像や過去画像を表示できること。			
		8	読影支援画面では、報告書には記載しない検査時のコメントを登録できること。また、コメントは次回の検査時にも引き継がれ、コメントの検索機能や前回コメントを今回に反映する機能もあること。			
19	システム連携	1	MEDISのフォーマットで、検体検査の依頼ができること。			
		2	MEDISのフォーマットで、検体検査の結果値を取得できること。			
		3	施設健診において、以下(No.4-No.25)の連携に対応できること。			
		4	身長体重計(DC-270A タニタ)と連携し、検査結果値を取得できること。			
		5	心電図(カーディマックス FCP-8800 フクダ電子)の機器と連携し、機器への属性の送信、および機器からの所見の取得・通過管理ができること。			
		6	骨粗測定機器(ALOKA AOS100SA 日立製作所)又はデータ処理用オプションソフトと連携し、機器への属性の送信、および機器からの検査結果値を取得できること。			
		7	眼圧測定装置(TX-20P キヤノン)と連携し、検査結果データを取得できること。			
		8	血圧計の通過管理ができること。将来的に連携可能な計測機器を導入した際は機器連携し、検査結果値を取得できること。			
		9	視力の通過管理ができること。将来的に計測機器と連携し、検査結果値を取得できること。			
		10	聴力の通過管理ができること。将来的に計測機器と連携し、検査結果値を取得できること。			
		11	胃部X線の通過管理ができること。			
		12	胸部X線の通過管理ができること。			
		13	マンモグラフィの通過管理ができること。			
		14	眼底の通過管理ができること。			
		15	腹部エコー2台(ALOKA Noblus 日立製作所、LOGIQ S7 Expert GEヘルスケア・ジャパン)と連携し、機器への属性の送信ができること。			
		16	乳エコー2台(ALOKA Noblus 日立製作所、LOGIQ S7 Expert GEヘルスケア・ジャパン)と連携し、機器への属性の送信ができること。			
		17	子宮の通過管理ができること。			
		18	採血の通過管理ができること。			
		19	健診システムからPACS(画像システム)へ画像の起動連携ができること。			

# 健診システム機能要件書

- (凡例) 基本 : ○ 健診パッケージの基本機能で対応可能な項目。  
 オプション : ○ 健診パッケージのオプション機能で対応可能な項目。  
 開発 : ○ 新規開発 または パッケージ機能をカスタマイズすることで対応する項目。

No.	項目	No.	内 容	ご 回 答 内 容		
				対応内容		
				基本	オプション	開発
		20	肺機能測定装置 (マルチファンクショナルスパイロメータ HI-801 チェスト) と連携し、通過管理及び検査結果値を取得できること。			
		21	動脈硬化測定装置 (バセラVS-3000N フクダ電子) と連携し、通過管理及び検査結果値を取得できること。			
		22	採血管準備装置 (機器未定) と連携が可能なこと。			
		23	問診の通過管理ができること。			
		24	診察の通過管理ができること。			
		25	腹囲の通過管理ができること。			
20	業務進捗管理	1	各種条件 (受診日、コース、団体) による業務進捗状況の検索ができること。			
		2	検査進捗の工程が一覧上に容易にチェックできること。			
		3	受診者単位での業務進捗状況の表示ができること。			
21	フォローアップ	1	有所見者を条件付で抽出できること。			
		2	再検、二次精査対象者リストの出力ができること。			
		3	二次精査対象者への通知書 (紹介状) の発行ができること。			
		4	有所見者の検査結果および経過記録管理ができること。			
		5	二次精査未受診者の抽出ができること。			
		6	二次精査を実施した結果を管理することができること。			
		7	二次検査を実施した結果を一覧で出力できること。			
		8	二次検査を実施した結果をデータで出力できること。			
		9	紹介状・再検査案内状を保存できること。			
		10	再・精密検査の受診先の医療機関は複数登録できること。			
		11	電話連絡時の情報 (不在や連絡回数など) を入力できるコメント欄があること。			
		12	詳細返書を入力管理できること。			
22	特定健診	1	受診者が持参した受診券の情報が登録できること。			
		2	特定健康診査結果通知書が出力できること。			
		3	代行機関に提出する標準フォーマットの各ファイル (「特定健診情報ファイル」、「決済用情報ファイル」) が作成できること。			
		4	データ作成時にエラーのチェックができること。			
		5	複数のパターンのXMLデータが作成できること。			
23	協会けんぽ	1	契約に従って、協会けんぽへの請求ができること。			
		2	便検査等の一部検査を実施しない場合に、契約単価に合わせて個人負担金額が自動で計算されること。			
		3	協会けんぽ健診の結果報告書 (一般健診、肝炎検査、子宮がん検診) に対応できること。			
		4	受診者を選択して、請求処理ができること。			
		5	協会けんぽ対象者の一覧を表示し、協会けんぽ受付番号、保険証情報、実施項目の確認及び修正ができること。			
		6	協会けんぽ健診の請求書 (健診実施状況報告書、請求書、明細書など) に対応できること。			
		7	指導区分内訳報告書が印刷できること。			
		8	協会けんぽ健診のデータ報告 (管理情報、結果データ、眼底結果) に対応できること。			
		9	協会けんぽ健診の項目判定、総合判定が管理できること。			
		10	協会けんぽの予定者情報 (テキストファイル) から取込ができること。			

# 健診システム機能要件書

- (凡例) 基本 : ○ 健診パッケージの基本機能で対応可能な項目。  
 オプション : ○ 健診パッケージのオプション機能で対応可能な項目。  
 開発 : ○ 新規開発 または パッケージ機能をカスタマイズすることで対応する項目。

No.	項目	No.	内 容	ご 回 答 内 容			備考 (代替案や具体的な対応方法など)
				対応内容			
				基本	オプション	開発	
		11	データ作成時にエラーチェックができること。				
		12	改正に対応できること。				
		13	団体や日付を指定して抽出が可能であること。				
24	ストレスチェック	1	ストレスチェックの結果処理(読み取り・計算・結果出力・集団分析)が可能なこと。				
		2	ストレスチェック用A4OCRは、1種作成すること。				
		3	ストレスチェック用帳票は、2帳票作成すること。				
25	特殊健診	1	特殊健診の結果処理(結果入力・一覧出力・結果票出力)が可能なこと。				
		2	情報機器作業・騒音については、自動判定で管理区分等が算出できること。				
		3	情報機器作業・騒音以外の項目は、管理区分の入力エリアがあること。				
		4	特殊健診用帳票は、5帳票作成すること。				
		5	尿蛋白・GOT・GTP等の検査項目は、検査項目を二重持ちしないこと。(定期健診等の結果を利用できること)				
26	企業特別対等(東振協)	1	東振協向けに所見・診断コードを必要に応じてコード変換でき、提出用の健診結果データ出力ができること。				
		2	東振協コースと自費オプションを同時受診した場合、東振協コースの検査項目のみをデータ出力できること。				
		3	データ作成時にエラーのチェックができること。				
27	帳票出力全般	1	各帳票は印刷前にプレビュー表示ができること。				
		2	帳票出力時に改ページの条件、出力順の変更ができること。				
		3	事前準備印刷物や報告書は帳票をセットで印刷できること。				
		4	帳票ごとに印刷するプリンタの設定ができること。				
28	マスタ管理	1	基本設定はすべてマスタ化されており、必要に応じてマスタの追加、変更ができること。				
		2	各種マスタからマスタリストがExcelファイルまたはCSVファイルとして出力できること。				
29	巡回健診	1	巡回健診業務に対応していること。				
	29-1 予定作成	1	契約情報を基に、出張検診準備情報を確認でき検診日程を入力可能なこと。				
		2	巡回メンバーの管理及びが可能であること。				
		3	実施計画書の作成が可能で印刷可能なこと。				
	29-2 予定管理	1	レントゲン車等の配車管理ができること。				
		2	各メンバーに依頼書が出力できること。				
	29-3実施計画	1	巡回健診の事前契約情報として以下の要件を満たすこと。				
		2	巡回健診の実施会場単位ごとに実施期間、実施団体、実施予定人数を登録できること。				
		3	同一会場で複数日での健診を実施する場合の管理が、1つの実施計画で管理できること。				
		4	健診の種類または検査別に、実施予定人数の登録ができること。また、同単位で前年度の予定人数と実施人数が参照できること。				
		5	日程調整中の場合に、候補日の登録が可能であること。				
		6	計画状態には 契約確認済、確定済、保留、キャンセルのステータスを保持可能なこと。				
		7	実施団体については集合健診を考慮し、複数団体登録できること。				
		8	実施団体毎にコメント情報(注意事項等)の登録ができること。				
		9	健診後に次年度への申し送り事項としてメモが入力できること。また、実施計画登録時に前年度の申し送りメモが参照できること。				
		10	作成した実施計画は、健診予定月、担当営業、状態等で検索が可能であること。				

# 健診システム機能要件書

- (凡例) 基本 : ○ 健診パッケージの基本機能で対応可能な項目。  
 オプション : ○ 健診パッケージのオプション機能で対応可能な項目。  
 開発 : ○ 新規開発 または パッケージ機能をカスタマイズすることで対応する項目。

No.	項目	No.	内 容	ご 回 答 内 容			
				対応内容			備考 (代替案や具体的な対応方法など)
				基本	オプション	開発	
		11	前年度の実施計画を複写して、次年度の計画が作成できること。				
		12	巡回健診の準備業務として以下の要件を満たすこと。				
		13	日程 (チーム、班)、バス、日付の表形式の画面等にて全体を俯瞰した巡回のスケジュール作成ができること。				
		14	日程計画は、日付、日程 (チーム、班)、出発ー帰着時間を主情報として登録できること。				
		15	1 日程に対して複数の実施計画を関連させることができ、それぞれの会場での健診時間の登録ができること。				
		16	日程計画ごとにコメント情報 (注意事項等) の登録ができること。				
		17	計画状態を登録可能とし、未確定、確定済、保留のステータスを保持できること。				
		18	日程計画一覧で、午前・午後の空き状況が確認できること。				
		19	日程計画に対して、必要な車両、スタッフが割当できること。				
		20	日程計画一覧で、日程、配車、スタッフ割当の状態が確認できること。				
		21	配車スケジュールの管理ができること。				
		22	スタッフを担当できる業務ごとにグルーピングができること。				
		23	日程 (チーム、班) のリーダーが登録できること。また、健診車両の運転手の登録ができること。				
		24	週間予定を確認する画面を有すること。(日程計画を一覧にて参照できること。)				
29-4	巡回予約	1	巡回健診対象者の予約登録機能として以下の要件を満たすこと。				
		2	各コースの受診条件より、自動で受診コースの割当ができること。				
		3	巡回予約された受診予定者に対して、受診票の一括出力が可能であること				
		4	受診票については、1000枚以上の大量発行ができること。				
		5	新規受診者に対して、仮IDでの受付が可能であること。				
		6	巡回健診の帰着後の業務として以下の要件を満たすこと。				
		7	受付情報を帰着後にサーバーへ受付情報を展開できること。				
		8	受付情報は、午前の健診終了時等、いつでも、何回でも抽出できること。				
		9	団体向けに健診実施日時、場所、健診実施項目等の案内が印刷できること。				
		10	日付、日程 (チーム、班) ごとに当日の健診計画が印刷できること。また、団体別、コース別の健診受診予定者数、健診実施項目の印刷ができること。さらに団体や契約のコメントが印字できること。				
		11	日別のスタッフスケジュール表が印刷できること。また、スタッフごとの役割 (運転、胸部X線、心電図、採血等) が印字できること。				
		12	週次別のスタッフスケジュール表が印刷できること。また、スタッフごとの役割 (運転、胸部X線、心電図、採血等) が印字できること。				
29-5	巡回予約 (巡回健診)	1	医師依頼の内容を確認するため、月間の医師依頼の計画 (日別の依頼医師) が印刷できること。				
		2	団体向けの受診予定者及び受診予定者毎の特殊コース等の一覧が印刷できること。				
		3	受診日、チーム、健診会場単位で受診者数、検査項目の実施者数の集計表が印刷できること。				
		4	日付、日程 (チーム、班) 毎に日程計画一覧表が印刷できること。				
		5	週間の日程計画内容 (健診内容、車両、医師、スタッフ等) を確認する帳票が印刷できること。				
		6	スタッフの割当状況を確認し、調整するための帳票が印刷できること。				
29-6	現場受付	1	巡回の住民健診の受付業務として以下の要件を満たすこと。				
		2	巡回健診の受付用にパソコン単体で動作する受付機能があること。				
		3	巡回健診の受付用に将来的に複数台数 (2台~) での運用が可能であること。				
		4	巡回健診の受付用に契約情報に現場でも受付登録が行えること。				

# 健診システム機能要件書

- (凡例) 基本 : ○ 健診パッケージの基本機能で対応可能な項目。  
 オプション : ○ 健診パッケージのオプション機能で対応可能な項目。  
 開発 : ○ 新規開発 または パッケージ機能をカスタマイズすることで対応する項目。

No.	項目	No.	内 容	ご 回 答 内 容			
				対応内容			備考 (代替案や具体的な対応方法など)
				基本	オプション	開発	
		5	住民健診、事業主健診を想定した操作性を考慮した現場受付画面であること。				
		6	巡回受付業務で特定健診詳細対象者のロジックを組み込めること。				
		7	巡回健診受付端末へ受診者情報をダウンロードできること。				
		8	巡回健診受付端末から受診者情報をアップロードできること。				
		9	巡回の事業主健診向けに検体オーダーを出力できること。				
30	保健指導	1	健診システムから個人属性情報、受診情報、健診結果を取り込みできること。				
		2	手入力でも個人属性情報、受診情報、健診結果を登録できること。				
		3	契約に基づいた支援パターンを任意に登録できること。				
		4	契約に基づいた保健指導の料金が保険者毎、コースごとに登録できること。				
		5	指定した受診者に対し、保健指導のスケジュールが登録できること。				
		6	スケジュール登録する際に予定日を自動で算出すること。				
		7	受診者が持参した利用券の情報が登録できること。				
		8	登録したスケジュールでの予定情報がカレンダーで参照できること。				
		9	スケジュール登録した保健指導の複数回の支援に対して1支援ごとに実績登録が行えること。				
		10	脱落(途中終了)の設定が行えること。				
		11	保健結果入力画面で、支援した内容を登録できること。				
		12	支援帳票(構造図、脳血管・心疾患予防、メタボ説明書等)が印刷できること。				
		13	特定保健指導支援計画及び実施報告書が印刷できること。				
		14	個人記録が任意の内容で登録できること。また、登録した内容が印刷できること。				
		15	プロセスボードで支援対象者の保健指導内容が視認性の良い形式で確認できること。				
		16	データ作成時にエラーチェックができること。				
		17	代行機関に提出する標準フォーマットの各ファイル(「保健指導情報ファイル」、「決済用情報ファイル」)が作成できること。				
		18	請求時に制度に基づく料金計算とポイント計算を自動で行うこと。				
		19	請求書が印刷できること。				
		20	保健指導により入力したデータを一括抽出し、CSV形式やExcel形式等で出力できること。				
		21	保健指導用帳票は、15帳票作成すること。				